

大成建設株式会社

職場の
意識改革

働きやすい
職場環境整備

建設業



管理本部 人事部部长
兼 人材いきいき推進室長 兼 計画室長

塩入 徹弥様

男性を巻き込む意識改革により スピーディな女性活躍推進を実現

業界に先駆けて 女性が活躍できる職場環境作りを推進

大成建設株式会社では、平成19年に人材活用に関する専門部署「女性活躍推進室」を設置し、業界に先駆けて女性が活躍できる職場環境作りを推進してきました。当時はまだ女性活躍推進に取り組む企業はそれ程多くはなく、先例のない中で女性社員へのヒアリングを繰り返しながら研修等の取組を行っていました。しかし、当時男性の割合が9割近くを占めるなかで、女性だけを対象にした取組を行っても全体的な改革にはつながらないと考え、平成22年頃より男性社員を巻き込んだ意識改革に取り組むことにしました。

当時は、女性は責任ある仕事やポジションを求めているのではないかと、考える男性社員も少なくありませんでした。そこで、職場において影響力を持つ管理職から啓蒙することが効果的ではないかと考え、男性管理職向けの研修やセミナーを実施し

ました。実施後は都度アンケートを取り、その結果をプログラムに反映させ、ハラスメントや働き方改革等の時流にあったトピックスも



女性管理者がプロジェクトを牽引

付加しています。

また、男性の意識改革には家庭への参画が不可欠であると考え、平成22年頃よりライフ・ワーク・バランス研修、父親セミナー、両立支援セミナー等も実施してきました。そして、平成28年より男性の育児休業取得推進にも本格的に着手し、平成30年度には取得率が94.2%となり、順調にその数値を伸ばしてきました。取得者の中には数か月にわたって取得する男性もおり、社内の風土が徐々に変わってきたことを実感します。

取組により女性社員・管理職が増加 女性社員だけでなく、全社的にも効果を発揮

これまでの様々な取組が実を結び、定量的な成果も表れてきました。女性活躍推進室(現：人材いきいき推進室)を設置した平成19年度以降の女性の新卒採用の割合は約2割となり、現場で働く基幹職女性の人数は、平成18年度は14名でしたが令和元年度には207名まで増加、女性管理職の人数は、数値目標を設定した平成26年度は30名でしたが令和元年度には200名まで増加しました。また、作業所において以前は女性が働くための環境が整っていない部分もありましたが、女性サイズの作業着の導入、女性専用のトイレや更衣室の設置のほか、「ヘルメットのあご紐で日焼け痕が残るのが嫌」

といった女性技術者の声を反映し、透明のあご紐のヘルメットを制作する等、制度以外の側面でも女性の働きやすさを追求するための取組を行い、定着率の向上にもつながっています。



アゴ紐が透明になったヘルメット

概要

大成建設株式会社

住所 |

東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル

設立 |

大正6年12月

業務内容 |

建築工事、土木工事、機器装置の設置工事、その他建設工事全般

HP |

<https://www.taisei.co.jp/>

効果の point

■ 基幹職女性社員の増加に伴い男性社員の意識改革を図り、定着率が向上。女性管理職も増加。

■ 男性社員の育児休業取得率が94.2%※まで上昇。数か月にわたる長期取得者も登場。 ※平成30年度の確定数値

■ 女性社員の声から、作業所の職場環境改善にアプローチし、女性の働きやすさを構築。